

ふじ もと ち か
藤本千佳さん

修士課程
文化表現系教育コース
[芸術系教育分野(音楽)]2年

昭和63(1988)年、宝塚市生まれ。3歳からピアノを始め。甲南女子大学在学中の平成21(2009)年、第14回ラポム大賞子どもの歌部門で佳作を受賞。保育士として2年間働いた後、24(2012)年に大学院修士課程に入学。同年、第4回A1あそびうたグランプリで決勝に進出した。



↑「ファイヤーダンス」が入った「A1あそびうたグランプリ2012～A1優秀曲オムニバスアルバム～」(右手前)。保育雑誌「新幼児と保育」4・5月号で新作「はぐちゅっゅ」が紹介された

キラリな人
SHINY PERSON



手

遊びや簡単なゲームと歌とを組み合わせた、遊び歌。昨秋、全国規模のコンクール「A1あそびうたグランプリ」で応募63組の中から決勝進出の3組に残った。惜しくも優勝は逃したが、予選で披露した「ファイヤーダンス」が収録されたオムニバスアルバムが今年7月にリリースされた。

キャンブファイヤーで歌うことをイメージしたこの曲は、ネイティブアメリカンの音楽のような旋律に、「ウツハー」と掛け声が入る。「ピアノ伴奏者から耳になじむメロディーだから上位へ行くよつて言われましたが、本当に決勝まで進めるとはびっくりしました」

3歳でピアノを始め、子どものころから作曲を楽しんでいた。また、小さな子どもが好きで高校時代には保育士への夢を抱くようになる。「高校3年生の時、音大へ進むかどうかと考えましたが、当時は音楽の道でやっていく確かな自信が持てませんでした」と保育系の学部を選んだ。しかし、音楽への未練を断ち切れず、在学中の平成21

(2009)年に初めてコンクールに応募。「踏ん切りをつける」つもりだったのが、佳作に選ばれたことで音楽への情熱はさらに燃え上がった。一度は保育園に勤めたものの、23(2011)年秋、退職して大学院への受験を決意する。

「保育士としての2年間の経験は曲作りに生きています。ファイヤーダンスを作ったのも、お泊まり保育で歌う曲が少ないと思ったのがきっかけです」

宝塚市の実家を出て、学生寄宿舎に入居。授業が終わればピアノ練習室にこもるか、図書館で絵本をめくり歌詞のヒントを探すという音楽に打ち込む毎日を送っている。

「修了後は音楽教室の先生をしながら、曲を作り続けていくことになると思います。コンクールで実績を挙げていけば、プロダクションに入れるかもしれないし、一にも二にもいい曲を作ることですね」。保育士時代に再確認した音楽への強い思い。その気持ちを胸に、将来の道を切り開いていく。

**子どもたちが
口ずさむ
遊び歌を
作りたいです**